



はま なし

鶴岡市立西郷小学校 学校だより
令和2年度 第6号 (2020. 8. 25 発行)
～家庭・地域とともにある西郷小学校～



残暑厳しい中 さあ新学期のスタート!

8月18日の朝、子供たちの挨拶をする声が学校に戻ってきました。夏休み中に2名の転出があり、全校児童106名での2学期のスタートを迎えました。

始業式では3年生の照井〇〇さんと4年生の小笠原〇〇くんから、2学期の学校生活に向けた具体的な目標発表がありました。二人とも「自ら努力して学ぶ」という気持ちを表してくれたことで、充実した2学期が予感され、とても嬉しく思いました。

私からは、「コロナ禍から引き起こされている偏見や差別などに惑わされないように、身近な周りにいるみんなを大事にしていこう。人を傷つせず、みんなが喜び笑顔になるにはどうしていけばよいのかを考えて学校生活を送ろう」と話しました。

12月25日の終業式まで、全員が安全に元気に学び続けることができますようお願い添えをよろしく願いいたします。

みんなで植えたヒマワリが学校の周りに咲きました⇒



～“地域とともにある学校”をさらに一歩進めるためにCS制度を導入～

8月21・22日付の山形新聞と荘内日報に鶴岡市総合教育会議の記事が掲載されました。その中に西郷小学校をはじめとする5校が、来年度から学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクール(CS)となる予定であることが報告されたと記されていました。

本校では昨年度より地域の方のご理解を得ながら、今年度からPTA会長、自治会長、自治会各組織の長の方々等総勢15名を「学校評議員」として学校長名でご委嘱し、学校の様子を報告するとともに、ご意見をいただく場をつくりました。今年度は6月に第1回を開催し、学校の教育方針、教育計画の編成、いじめ調査等についてご説明しました。学校運営協議会制度についてもお伝えし、方向性に賛同を得ておりました。年度中にあと2回の開催を予定しています。

鶴岡市教育委員会では、地域と学校との結びつきをより確かなものにしていこうと、本校が設置したような組織を、市の条例にのっとった「学校運営協議会」という形で、どの学校にも置く計画を進めています。「学校運営協議会委員」は鶴岡市教育委員会からの任命となり、一定の権限と責任を持ちますので、より学校運営に当事者意識をもって建設的なご意見をいただくことができるようになります。

本校としましては、今年度立ち上げた「学校評議員会」をほぼそのまま「学校運営協議会」に格上げする予定としております。こうすることで、従来から地域の皆様のご協力を得て進めているふるさと学習や地域で運営されてきている放課後子ども教室(おおぞら教室)などのつながりも、より深くより一体的に進められていくことを期待しています。

今後も、保護者、地域の皆様に制度の内容や進捗状況を詳しくお伝えする方法、場を考えておりますのでご理解をお願いします。

また、疑問やご意見がありましたら、いつでも学校へお問い合わせください。76-2307